

## ヒトES細胞の樹立計画、設置計画及び使用計画について(報告)

平成22年1月19日  
文部科学省  
生命倫理・安全対策室

平成19年3月9日から平成22年1月18日までに行ったヒトES細胞の樹立計画、分配機関の設置計画及び使用計画の確認等の結果について、以下のとおり報告する。

### 1. 樹立計画

7件の変更申請を受け、科学技術・学術審議会生命倫理・安全部会特定胚及びヒトES細胞等研究専門委員会(以下「ES専門委員会」という。)からの意見聴取結果を踏まえ、それぞれ指針に適合していることを確認した。また、1件の変更届出を受理した。

### 2. 分配機関の設置計画

1件の新規申請を受け、ES専門委員会からの意見聴取結果を踏まえ、それぞれ指針に適合していることを確認した。また、1件の変更届出を受理した。

### 3. 使用計画

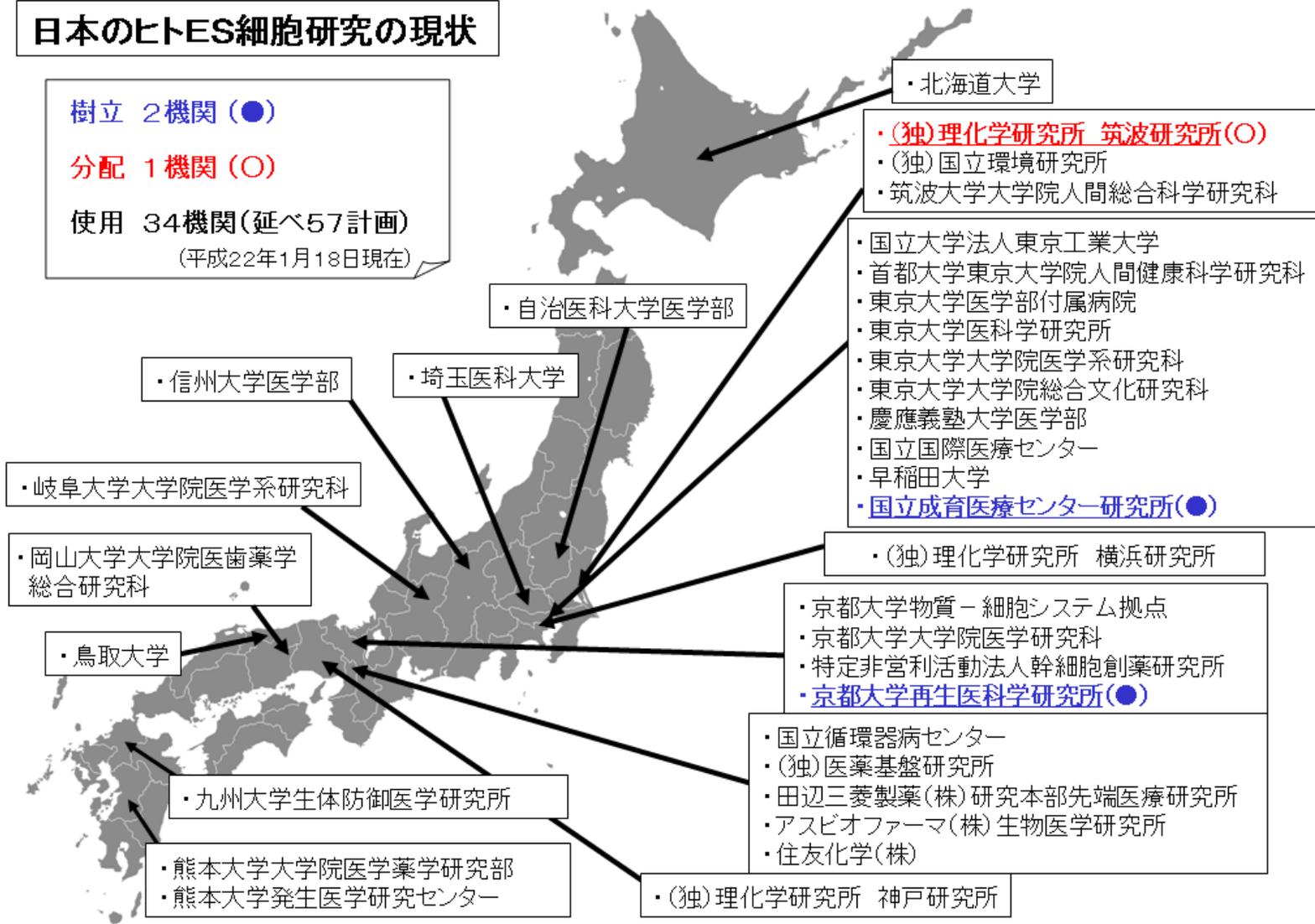
平成21年8月21日の指針改正までに、22件の新規申請及び103件の変更申請を受け、ES専門委員会からの意見聴取結果を踏まえ、それぞれ指針に適合していることを確認した。また、73件の変更届出を受理した。

指針改正後は、2件の新規届出及び20件の変更届出を受理した。

以上の結果、現在実施中のヒトES細胞の研究計画は、樹立計画2件(2機関)、分配機関の設置計画1件(1機関)、使用計画57件(34機関)となっている(別紙1及び2参照)。

# 日本のヒトES細胞研究の現状

樹立 2機関 (●)  
分配 1機関 (○)  
使用 34機関(延べ57計画)  
(平成22年1月18日現在)



【樹立計画】

1	樹立計画の名称	ヒトES細胞株の樹立と特性解析に関する研究		
	※樹立の期間	※平成25年4月2日まで		
	樹立機関の名称	京都大学再生医科学研究所		
	樹立機関の長の氏名	坂口 志文 所長		
	樹立責任者の氏名	中辻 憲夫 教授		
	樹立計画の概要	ヒト受精卵からES細胞株を樹立し、その特性と分化能を検査する。		
	申請年月日	平成13年12月27日	大臣確認日	平成14年4月3日
		平成14年8月9日（提供医療機関の追加）		平成14年10月7日
		平成16年1月20日（研究者の追加等）		平成16年3月11日
		平成17年3月31日（樹立期間の延長）		平成17年7月19日
平成18年8月18日（研究者の変更等）		平成18年11月14日		
平成19年5月2日（提供医療機関の追加、樹立予定株数の変更）		平成19年5月24日		
平成19年3月16日（施設の追加、研究者の追加）		平成19年6月21日		
平成19年10月25日（指針改正に伴う変更、提供医療機関の削除、樹立機関の長の変更、研究者の削除、提供医療機関の長の変更）		平成20年3月24日		
平成20年2月18日（期間の延長）		平成20年4月1日		
2	樹立計画の名称	ヒトES細胞の樹立		
	※樹立の期間	※平成24年3月5日まで		
	樹立機関の名称	国立成育医療センター研究所		
	樹立機関の長の氏名	名取 道也 研究所長		
	樹立責任者の氏名	梅澤 明弘 生殖医療研究部長		
	樹立計画の概要	異種由来物質を排除した環境におけるヒトES細胞の樹立方法、及びゲノムレベルでの変異を生じない安全なヒトES細胞の培養環境の確立を目的とする。		
	申請年月日	平成18年10月18日	大臣確認日	平成19年3月5日
平成19年10月5日（指針改正に伴う変更）		平成20年2月12日		
平成20年12月16日（提供医療機関の追加、研究者の変更）		平成21年2月5日		
平成21年11月9日（提供医療機関の追加、研究者の変更）		平成21年12月22日		
届出年月日	平成20年12月16日（樹立機関の長の変更）	届出受理日	平成20年12月22日	

【設置計画】

1	分配機関の名称	独立行政法人理化学研究所筑波研究所		
	分配機関の長の名称	小幡 裕一 所長		
	分配責任者の氏名	中村 幸夫 室長		
	申請年月日	平成20年2月8日	大臣確認日	平成20年4月1日
	届出年月日	平成20年4月22日（分配機関の長の氏名の変更）	届出受理日	平成20年4月23日

【使用計画】

1	使用計画の名称 ※ 使用の期間	ヒトES細胞を用いた血管発生・分化機構の解析と血管再生への応用 ※平成22年4月16日まで		
	使用機関の名称	京都大学大学院医学研究科		
	使用機関の長の氏名	光山 正雄 研究科長		
	使用責任者の氏名	中尾 一和 教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞から血管の内皮細胞等へ分化させ、増殖物質を使用して血管を再生させる（平成17年4月30日まで使用計画2と共同実施）。		
	申請年月日	平成14年1月30日	大臣確認日	平成14年4月26日
		平成14年11月19日（研究者の追加）		平成14年12月5日
		平成15年12月15日（使用細胞株の追加）		平成16年3月11日
平成17年4月22日（使用期間の延長）		平成17年8月8日		
平成19年3月15日（使用期間の延長）		平成19年4月17日		
平成19年10月23日（指針改正に伴う変更、研究者の追加）		平成20年4月1日		
平成20年6月30日（ヒトES細胞株の追加）	平成20年8月12日			
届出年月日	平成20年10月1日（使用機関の長の変更）	届出受理日	平成20年10月14日	
2	使用計画の名称 ※ 使用の期間	ヒトES細胞を用いた血管発生・分化機構の解析と血管再生への応用 ※平成17年4月30日に使用計画終了		
	使用機関の名称	田辺製薬（株）先端医学研究所		
	使用機関の長の氏名	仁藤 新治 所長		
	使用責任者の氏名	近藤 靖 主任研究員		
	使用計画の概要	ヒトES細胞から血管の内皮細胞等へ分化させ、増殖物質を使用して血管を再生させる（使用計画1と共同実施）。		
	申請年月日	平成14年4月17日	大臣確認日	平成14年6月27日
平成14年11月19日（研究者の追加）		平成14年12月5日		
平成15年6月16日（使用責任者等の変更）		平成15年8月7日		
平成16年7月12日（使用細胞株の追加）		平成16年10月5日		
3	使用計画の名称 ※ 使用の期間	ヒト胚性幹細胞を用いた中枢神経系の再生医学の基礎的研究 ※平成24年11月6日まで		
	使用機関の名称	慶応義塾大学医学部		
	使用機関の長の氏名	末松 誠 医学部長		
	使用責任者の氏名	岡野 栄之 教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞からの神経幹細胞を含め神経系細胞の誘導及び選択的培養法により、生物学的特性を解析する。		

	申請年月日	平成14年8月22日 ----- 平成17年4月4日(使用細胞株の追加、研究者の追加) ----- 平成18年1月19日(研究者の追加) ----- 平成19年10月1日(指針改正に伴う変更、使用期間の変更、研究者の変更)	大臣確認日	平成14年11月7日 ----- 平成17年7月19日 ----- 平成18年3月29日 ----- 平成19年10月31日
4	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒト胚性幹細胞(ES細胞)から造血細胞への分化誘導法の開発 ※平成24年12月19日まで		
	使用機関の名称	東京大学医科学研究所		
	使用機関の長の氏名	清木 元治 所長		
	使用責任者の氏名	辻 浩一郎 准教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞を用いて造血幹細胞への誘導法を開発し、その分化機構を解明することにより、造血幹細胞移植に供される移植片の確保を図る。		
	申請年月日	平成14年7月8日 ----- 平成17年12月19日(使用研究者の変更、使用細胞株の追加、研究計画の追加) ----- 平成19年9月27日(指針改正に伴う変更、使用期間の変更、研究者の変更) ----- 平成20年7月10日(使用の方法の追加)	大臣確認日	平成14年12月20日 ----- 平成18年3月3日 ----- 平成19年12月10日 ----- 平成20年9月17日
届出年月日	平成21年5月21日(研究者の追加) ----- 平成21年8月28日(実験室の追加)	届出受理日	平成21年6月4日 ----- 平成21年9月9日	
5	使用計画の名称 ※使用の期間	ES細胞由来造血幹細胞による造血の再生 ※平成23年3月31日まで		
	使用機関の名称	東京大学医学部附属病院		
	使用機関の長の氏名	武谷 雄二 病院長		
	使用責任者の氏名	小川 誠司 特任准教授		
	使用計画の概要	造血幹細胞移植や輸血治療への応用を念頭に、ヒトES細胞から造血幹細胞へ分化誘導し増殖するとともに、さらに成熟血液細胞へ分化させる。		
	申請年月日	平成14年7月4日 ----- 平成16年12月20日(使用責任者の変更、使用細胞株の追加等) ----- 平成18年8月29日(研究者の追加、使用施設の追加) ----- 平成19年9月27日(指針改正に伴う変更、研究者の変更) ----- 平成20年7月10日(使用責任者の変更、使用分担者の削除) ----- 平成21年1月23日(使用期間の延長、使用方法の追加)	大臣確認日	平成14年12月20日 ----- 平成17年3月10日 ----- 平成18年12月11日 ----- 平成19年12月11日 ----- 平成20年8月12日 ----- 平成21年3月2日

6	使用計画の名称 ※ 使用の期間	ヒトES細胞の維持と分化に関する研究 ※平成20年4月30日に使用計画終了		
	使用機関の名称	信州大学医学部		
	使用機関の長の氏名	大橋 俊夫 学部長		
	使用責任者の氏名	佐々木 克典 教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞から心筋細胞及び肝細胞へ分化させる方法の確立や分化細胞の解析を行う。		
	申請年月日	平成13年12月6日 ----- 平成16年8月6日（研究者の追加） ----- 平成17年4月26日（使用期間の延長、研究者の追加） ----- 平成18年1月30日（施設の追加、使用細胞株の追加、研究者の削除） ----- 平成18年7月24日（研究者の変更） ----- 平成19年10月25日（指針改正に伴う変更、使用分担者の削除、研究者の削除）	大臣確認日	平成14年12月20日 ----- 平成16年10月5日 ----- 平成17年7月19日 ----- 平成18年5月24日 ----- 平成18年9月8日 ----- 平成20年3月3日
7	使用計画の名称 ※ 使用の期間	ヒトES細胞からの血液細胞の分化誘導系の確立 ※平成23年3月31日まで		
	使用機関の名称	岐阜大学大学院医学系研究科		
	使用機関の長の氏名	犬塚 貴 研究科長		
	使用責任者の氏名	國貞 隆弘 教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞を用いてヒトの血液細胞を分化誘導する条件を探索する。特に破骨細胞の誘導を重点的に行う。		
申請年月日	平成15年3月7日 ----- 平成16年5月28日（使用機関の所在地の変更等） ----- 平成17年3月14日（使用細胞株の追加、研究者の追加、使用期間の延長） ----- 平成19年10月15日（指針改正に伴う変更、研究者の追加、使用期間の延長、使用方法の変更）	大臣確認日	平成15年4月23日 ----- 平成16年10月5日 ----- 平成17年8月8日 ----- 平成20年3月27日	
届出年月日	平成20年4月28日（使用機関の長の変更）	届出受理日	平成20年5月7日	
8	使用計画の名称 ※ 使用の期間	ヒトES細胞を用いた心筋細胞の再生医学の研究 ※平成23年3月31日まで		
	使用機関の名称	岐阜大学大学院医学系研究科		
	使用機関の長の氏名	犬塚 貴 研究科長		
	使用責任者の氏名	國貞 隆弘 教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞から心筋細胞を分化誘導し、心筋細胞・組織の分化誘導法の開発と心筋の発生・分化メカニズムの解明などを行う。		

	申請年月日	平成15年3月7日 平成16年5月28日（使用機関の所在地の変更等） 平成17年3月14日（使用細胞株の追加、研究者の追加、使用期間の延長） 平成19年10月15日（指針改正に伴う変更、研究者の追加、使用期間の延長、使用方法の変更） 平成20年12月15日（使用方法の変更）	大臣確認日	平成15年8月7日 平成16年10月5日 平成17年8月8日 平成20年3月27日 平成21年2月5日
	届出年月日	平成20年4月28日（使用機関の長の変更）	届出受理日	平成20年5月7日
9	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒトES細胞を用いたパーキンソン病モデルサルにおける移植効果及び安全性評価 ※平成23年3月10日まで		
	使用機関の名称	田辺三菱製薬株式会社研究本部先端医療研究所		
	使用機関の長の氏名	井上 裕章 所長		
	使用責任者の氏名	近藤 靖 先端医療研究部再生医療グループグループマネージャー		
	使用計画の概要	ヒトES細胞から神経系細胞を分化誘導し、パーキンソン病モデル動物に移植を行い、モデル動物における移植効果及び安全性の評価を行う（使用計画10と共同実施）。		
	申請年月日	平成15年9月8日 平成17年1月14日（使用期間の延長） 平成17年8月9日（研究者の削除） 平成18年6月15日（研究者の削除） 平成19年2月8日（使用期間の延長、研究者の追加） 平成19年2月8日（使用細胞株の追加） 平成19年8月6日（指針改正に伴う変更） 平成21年1月30日（使用期間の延長、実験室の変更）	大臣確認日	平成16年3月11日 平成17年3月10日 平成17年11月9日 平成18年7月26日 平成19年3月9日 平成19年5月7日 平成19年10月16日 平成21年3月2日
	届出年月日	平成19年10月31日（使用機関の名称の変更、使用機関の長・使用責任者・使用分担者の所属の変更） 平成21年7月29日（研究者の変更）	届出受理日	平成19年11月14日 平成21年7月30日
	10	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒトES細胞を用いたパーキンソン病モデルサルにおける移植効果及び安全性評価 ※平成23年3月10日まで	
使用機関の名称		自治医科大学医学部		
使用機関の長の氏名		高久 史麿 学部長		
使用責任者の氏名		中野 今治 教授		
使用計画の概要		ヒトES細胞から神経系細胞を分化誘導し、パーキンソン病モデル動物に移植を行い、モデル動物における移植効果及び安全性の評価を行う（使用計画9と共同実施）。		
申請年月日		平成16年1月22日 平成17年1月14日（使用期間の延長）	大臣確認日	平成16年3月11日 平成17年3月10日

		平成19年2月14日(使用期間の延長)		平成19年3月9日
		平成19年3月7日(使用細胞株の追加、研究者の変更)		平成19年5月7日
		平成19年10月2日(指針改正に伴う変更)		平成19年12月13日
		平成21年2月5日(使用期間の延長)		平成21年3月2日
	届出年月日	平成20年11月7日(研究者の追加)	届出受理日	平成20年11月12日
11	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒトES細胞を用いた神経細胞、感覚系細胞への分化誘導と再生医療への応用のための基礎的研究 ※平成22年3月31日まで		
	使用機関の名称	独立行政法人理化学研究所 神戸研究所		
	使用機関の長の氏名	竹市 雅俊 所長		
	使用責任者の氏名	笹井 芳樹 発生・再生科学総合研究センターグループディレクター		
	使用計画の概要	ヒトES細胞からドーパミン神経細胞などの神経細胞、及び網膜色素上皮細胞などの感覚系細胞への分化誘導法の開発と分化細胞の分離・純化法の検討を行う。		
	申請年月日	平成16年1月30日 平成16年11月26日(研究者の追加等) 平成17年5月6日(使用実施場所の変更) 平成18年7月20日(研究者の変更) 平成19年3月7日(使用期間の延長、研究者の削除等) 平成19年7月11日(研究者の追加) 平成19年10月19日(指針改正に伴う変更、研究者の削除、実験室の追加) 平成21年1月19日(使用施設の変更)	大臣確認日	平成16年3月23日 平成17年3月10日 平成17年7月19日 平成18年10月5日 平成19年3月27日 平成19年7月31日 平成19年12月18日 平成21年2月23日
	届出年月日	平成21年1月19日(研究者の追加、削除) 平成21年8月21日(研究者の削除、追加) 平成21年12月9日(研究者の追加)	届出受理日	平成21年1月22日 平成21年8月24日 平成21年12月21日
	12	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒトES細胞を用いた脂肪細胞、中胚葉系幹細胞への分化誘導と再生医療への応用のための基礎的研究 ※平成21年1月31日に使用計画終了	
	使用機関の名称	独立行政法人理化学研究所 神戸研究所		
	使用機関の長の氏名	竹市 雅俊 所長		
	使用責任者の氏名	西川 伸一 発生・再生科学総合研究センター副センター長		
	使用計画の概要	ヒトES細胞から脂肪幹細胞などの中胚葉系幹細胞、脂肪前駆細胞及び脂肪細胞への分化誘導法の開発と分化細胞の解析を行う(平成19年3月31日まで使用計画32と共同実施)。		
	申請年月日	平成16年1月30日 平成17年5月6日(使用実施場所の変更)	大臣確認日	平成16年3月23日 平成17年7月19日

		平成 17 年 11 月 15 日（使用体制の変更等）		平成 18 年 2 月 22 日
		平成 19 年 3 月 7 日（使用期間の延長、研究者の削除等）		平成 19 年 3 月 27 日
		平成 19 年 10 月 19 日（指針改正に伴う変更、研究者の削除）		平成 19 年 12 月 25 日
		平成 21 年 1 月 19 日（使用期間の短縮）		平成 21 年 1 月 30 日
13	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒトES細胞の効果的な維持培養を可能にするシグナル因子の研究 ※平成 22 年 3 月 31 日まで		
	使用機関の名称	独立行政法人理化学研究所神戸研究所		
	使用機関の長の氏名	竹市 雅俊 所長		
	使用責任者の氏名	丹羽 仁史 発生・再生科学総合研究センターチームリーダー		
	使用計画の概要	ヒトES細胞の無血清・無フィーダー培養系の確立及び未分化状態で効率よく増殖させる培養条件の検討を行う（平成 19 年 3 月 31 日まで使用計画 14 と共同実施）。		
	申請年月日	平成 16 年 1 月 30 日 平成 17 年 1 月 12 日（使用の体制の変更） 平成 17 年 5 月 6 日（使用実施場所の変更） 平成 18 年 7 月 20 日（研究者の追加） 平成 19 年 3 月 7 日（使用期間の延長、使用体制の変更） 平成 19 年 10 月 19 日（指針改正に伴う変更、研究者の削除、実験室の追加） 平成 21 年 1 月 19 日（使用施設の変更）	大臣確認日	平成 16 年 3 月 23 日 平成 17 年 3 月 10 日 平成 17 年 7 月 19 日 平成 18 年 10 月 5 日 平成 19 年 3 月 27 日 平成 20 年 2 月 12 日 平成 21 年 2 月 23 日
	届出年月日	平成 21 年 1 月 19 日（研究者の追加、削除） 平成 21 年 8 月 21 日（研究者の削除）	届出受理日	平成 21 年 1 月 22 日 平成 21 年 8 月 24 日
14	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒトES細胞の効果的な維持培養を可能にするシグナル因子の研究 ※平成 19 年 3 月 31 日に使用計画終了		
	使用機関の名称	ステムセルサイエンス（株）		
	使用機関の長の氏名	中島 憲三 代表取締役社長		
	使用責任者の氏名	杉村 逸朗 研究員		
	使用計画の概要	ヒトES細胞の無血清・無フィーダー培養系の確立及び未分化状態で効率よく増殖させる培養条件の検討を行う（使用計画 13 と共同実施）。		
申請年月日	平成 16 年 10 月 28 日 平成 17 年 5 月 11 日（使用実施場所の変更）	大臣確認日	平成 17 年 3 月 10 日 平成 17 年 7 月 19 日	
15	使用計画の名称 ※使用の期間	医学応用を目指したヒト胚性幹細胞（ES細胞）の安全かつ簡便な新規培養技術の開発研究 ※平成 24 年 3 月 31 日まで		
	使用機関の名称	京都大学再生医科学研究所		
	使用機関の長の氏名	坂口 志文 所長		
	使用責任者の氏名	末盛 博文 准教授		

	使用計画の概要	ヒトES細胞の未分化性維持の制御機構について研究を行い、その結果をもとに支持細胞を必要としない培養技術を確立する。		
	申請年月日	平成16年5月13日 平成17年4月12日（研究者の追加、施設の変更） 平成17年11月8日（使用細胞株の追加） 平成19年3月5日（研究者の追加、削除等） 平成19年5月15日（研究者の追加、削除等） 平成19年10月16日（指針改正に伴う変更、使用責任者の変更、研究者の追加、使用期間の延長） 平成21年1月30日（細胞株の追加）	大臣確認日	平成16年7月27日 平成17年7月19日 平成18年3月10日 平成19年6月13日 平成19年7月4日 平成20年2月12日 平成21年3月11日
	届出年月日	平成20年6月2日（研究者の追加及び削除） 平成21年1月30日（研究者の削除）	届出受理日	平成20年6月5日 平成21年2月4日
16	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒトES細胞に対する遺伝子導入法の開発と遺伝子改変技術の確立 ※平成24年3月31日まで		
	使用機関の名称	京都大学再生医科学研究所		
	使用機関の長の氏名	坂口 志文 所長		
	使用責任者の氏名	末盛 博文 准教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞を医療応用する上で問題となる免疫拒絶、移植細胞の予期しない増殖等の問題を解決するために必要である各種遺伝子改変技術を確立する。		
	申請年月日	平成16年5月13日 平成17年4月12日（研究者の追加、施設の変更） 平成17年11月8日（使用細胞株の追加） 平成19年3月5日（研究者の追加、削除等） 平成19年5月15日（研究者の削除等） 平成19年10月16日（指針改正に伴う変更、使用責任者の変更、研究者の追加、使用期間の延長） 平成21年1月30日（細胞株の追加）	大臣確認日	平成16年7月27日 平成17年7月19日 平成18年3月10日 平成19年5月17日 平成19年7月4日 平成20年2月12日 平成21年3月11日
	届出年月日	平成20年6月2日（研究者の追加及び削除） 平成21年1月30日（研究者の削除）	届出受理日	平成20年6月5日 平成21年2月4日
17	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒトES細胞からの神経分化誘導および細胞移植後の機能と安全性の解析 ※平成24年3月31日まで		
	使用機関の名称	京都大学大学院医学研究科		
	使用機関の長の氏名	光山 正雄 研究科長		
	使用責任者の氏名	高木 康志 講師		

	使用計画の概要	ヒトES細胞からドーパミン神経細胞を分化誘導し、パーキンソン病モデル動物等に移植して治療効果及び安全性の検討を行う（使用計画18と共同実施）。		
	申請年月日	平成16年12月7日	大臣確認日	平成17年3月10日
		平成17年10月25日（研究者の変更）		平成18年3月8日
		平成19年3月28日（使用責任者の変更、研究者の変更、使用期間の変更）		平成19年7月30日
		平成19年10月23日（指針改正に伴う変更、研究者の追加、実験室の追加）		平成20年4月1日
届出年月日	平成20年5月12日（使用責任者の変更、使用分担者の削除）		平成20年7月1日	
	届出年月日	平成20年5月12日（研究者の追加）	届出受理日	平成20年7月2日
		平成20年10月1日（使用機関の長の変更）		平成20年10月14日
		平成21年7月3日（研究者の変更）		平成21年7月27日
		平成21年10月23日（ヒトES細胞株の追加）		平成21年10月26日
18	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒトES細胞からの神経分化誘導および細胞移植後の機能と安全性の解析 ※平成24年3月31日まで		
	使用機関の名称	京都大学再生医科学研究所		
	使用機関の長の氏名	坂口 志文 所長		
	使用責任者の氏名	高橋 淳 准教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞からドーパミン神経細胞を分化誘導し、パーキンソン病モデル動物等に移植して治療効果及び安全性の検討を行う（使用計画17と共同実施）。		
	申請年月日	平成17年1月7日	大臣確認日	平成17年3月10日
		平成19年5月8日（研究者の変更）		平成19年7月30日
平成19年10月16日（指針改正に伴う変更、使用分担者の削除、研究者の追加、実験室の追加）		平成19年12月19日		
平成20年7月9日（使用分担者の削除、研究者の追加）		平成20年9月17日		
届出年月日	平成20年10月23日（使用分担者の追加）		平成20年12月8日	
届出年月日	平成21年8月31日（ヒトES細胞株の追加）	届出受理日	平成21年9月1日	
19	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒト胚性幹細胞からの造血幹細胞ならびに成体多能性幹細胞の誘導 ※平成19年10月31日に使用計画終了		
	使用機関の名称	東京大学医科学研究所		
	使用機関の長の氏名	山本 雅 所長		
	使用責任者の氏名	中内 啓光 教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞から造血幹細胞を分化誘導する方法を確立するとともに、成体型多能性幹細胞の発生機序の解明を目的としてヒトES細胞から成体型多能性幹細胞の誘導を行う。		
	申請年月日	平成16年12月20日	大臣確認日	平成17年3月10日

		平成 18 年 2 月 27 日 (研究者の変更)		平成 18 年 3 月 16 日
		平成 18 年 8 月 9 日 (使用細胞株の追加)		平成 18 年 11 月 14 日
20	使用計画の名称 ※ 使用の期間	ヒト胚性幹細胞からのヒト血小板への分化誘導 ※平成 19 年 10 月 31 日に使用計画終了		
	使用機関の名称	東京大学医科学研究所		
	使用機関の長の氏名	山本 雅 所長		
	使用責任者の氏名	中内 啓光 教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞から巨核球及び血小板への分化誘導、純化、機能の検証などを行う。		
	申請年月日	平成 16 年 12 月 20 日 平成 18 年 2 月 27 日 (研究者の変更) 平成 18 年 8 月 9 日 (使用細胞株の追加)	大臣確認日	平成 17 年 3 月 10 日 平成 18 年 3 月 16 日 平成 18 年 11 月 14 日
21	使用計画の名称 ※ 使用の期間	ヒトES細胞を用いた心血管細胞分化機構に関する研究 ※平成 22 年 3 月 9 日まで		
	使用機関の名称	京都大学再生医科学研究所		
	使用機関の長の氏名	坂口 志文 所長		
	使用責任者の氏名	山下 潤 准教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞心血管分化誘導系の構築、分化過程で発現する遺伝子の解析及びマウス等への移植などを行う。		
	申請年月日	平成 17 年 1 月 7 日 平成 17 年 12 月 2 日 (研究者の追加) 平成 18 年 8 月 18 日 (使用細胞株の追加、研究者の追加) 平成 19 年 10 月 16 日 (指針改正に伴う変更、研究者の変更、実験室の追加)	大臣確認日	平成 17 年 3 月 10 日 平成 18 年 3 月 8 日 平成 18 年 11 月 14 日 平成 19 年 12 月 19 日
22	使用計画の名称 ※ 使用の期間	ヒトES細胞を用いた造血幹細胞、神経幹細胞、心筋幹細胞形成における機構解析 ※平成 22 年 7 月 18 日まで		
	使用機関の名称	京都大学大学院医学研究科		
	使用機関の長の氏名	光山 正雄 研究科長		
	使用責任者の氏名	中畑 龍俊 教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞由来ヒト体性幹細胞に対する基礎的知識と、ヒトES細胞から作成された体性幹細胞の臨床応用に関する基礎的検討を行う。		
	申請年月日	平成 17 年 5 月 13 日 平成 18 年 8 月 17 日 (研究者の変更) 平成 19 年 10 月 23 日 (指針改正に伴う変更、研究者の削除)	大臣確認日	平成 17 年 7 月 19 日 平成 18 年 10 月 5 日 平成 20 年 4 月 1 日
	届出年月日	平成 20 年 10 月 1 日 (使用機関の長の変更)	届出受理日	平成 20 年 10 月 14 日

23	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒトES細胞からの神経堤細胞を経由した神経細胞等の分化誘導系の確立 ※平成23年3月31日まで		
	使用機関の名称	岐阜大学大学院医学系研究科		
	使用機関の長の氏名	犬塚 貴 研究科長		
	使用責任者の氏名	國貞 隆弘 教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞からの神経堤細胞の分化誘導条件探索と、誘導された細胞から目的の細胞を生成するとともに、分化細胞が動物で機能することの確認とがん細胞へ分化するなどの検証を行う。		
	申請年月日	平成17年3月14日	大臣確認日	平成17年8月9日
		平成19年10月15日（指針改正に伴う変更、研究者の追加、使用期間の延長、使用方法の変更）		平成20年4月4日
届出年月日	平成20年4月28日（使用機関の長の変更）	届出受理日	平成20年5月7日	
24	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒトES細胞を用いた網膜細胞の分化誘導と網膜移植の研究 ※平成18年8月31日に使用計画終了		
	使用機関の名称	京都大学大学院医学研究科		
	使用機関の長の氏名	塩田 浩平 研究科長		
	使用責任者の氏名	高橋 政代 准教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞からの網膜細胞の分化誘導、移植効率を至適化し、安全性の確認を行う。		
	申請年月日	平成17年6月16日	大臣確認日	平成17年9月1日
平成17年10月25日（研究者の追加、研究計画の追加）		平成18年3月8日		
平成18年8月22日（使用期間の変更）		平成18年11月21日		
25	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒト胚性幹細胞の肝細胞への分化誘導およびその体外式バイオ人工肝臓への応用に関する基礎的研究 ※平成22年12月23日まで		
	使用機関の名称	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科		
	使用機関の長の氏名	槇野 博史 研究科長		
	使用責任者の氏名	小林 直哉 講師		
	使用計画の概要	遺伝子組換えを行うことなく肝細胞へと効率よくヒトES細胞を分化させる手法の検討と、バイオ人工肝臓の開発を行う。		
	申請年月日	平成17年2月10日	大臣確認日	平成17年9月14日
平成18年6月21日（研究者の追加）		平成18年9月8日		
平成19年3月6日（研究者の追加等）		平成19年5月15日		
平成19年7月10日（指針改正に伴う変更、使用機関の長の変更、使用責任者の変更、使用細胞株の追加、使用方法の変更、研究者の変更）		平成19年9月20日		

		平成 20 年 9 月 19 日 (研究期間の延長)		平成 20 年 12 月 24 日
	届 出 年 月 日	平成 20 年 9 月 19 日 (研究者の削除、研究者の追加)	届出受理日	平成 20 年 10 月 31 日
		平成 21 年 4 月 10 日 (使用機関の長の変更)		平成 21 年 4 月 16 日
26	使用計画の名称 ※ 使用の期間	ヒトES細胞の無フィーダー、無血清環境を駆使した新しい未分化維持増殖培養法ならびに血液細胞血管内皮細胞分化制御系の開発 ※平成 24 年 3 月 31 日まで		
	使用機関の名称	国立国際医療センター		
	使用機関の長の氏名	桐野 高明 総長		
	使用責任者の氏名	湯尾 明 血液疾患研究部長		
	使用計画の概要	ヒトES細胞を用いて、フィーダー細胞を用いない未分化維持培養系、高純度の血液細胞や血管内皮細胞を分化させる培養系の開発を行う。		
	申 請 年 月 日	平成 17 年 8 月 23 日 平成 18 年 9 月 19 日 (研究者の変更、使用期間の変更、使用方法の変更、使用機関の基準に関する説明の変更) 平成 19 年 8 月 22 日 (指針改正に伴う変更、使用方法の変更) 平成 21 年 6 月 18 日 (使用期間の変更、ヒトES細胞株の変更)	大臣確認日	平成 17 年 11 月 9 日 平成 18 年 11 月 24 日 平成 19 年 12 月 18 日 平成 21 年 7 月 13 日
届 出 年 月 日	平成 20 年 3 月 17 日 (研究者の追加、削除) 平成 20 年 6 月 4 日 (使用機関の長の変更) 平成 20 年 10 月 27 日 (研究者の追加、削除)	届出受理日	平成 20 年 3 月 19 日 平成 20 年 6 月 6 日 平成 20 年 10 月 31 日	
27	使用計画の名称 ※ 使用の期間	ヒトES細胞由来の神経系細胞を用いた再生医療のための基礎的研究 ※平成 22 年 12 月 15 日まで		
	使用機関の名称	首都大学東京大学院人間健康科学研究科		
	使用機関の長の氏名	繁田 雅弘 研究科長		
	使用責任者の氏名	井上 順雄 教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞から神経系細胞への分化誘導の機構を解明し、さらに分化した神経系細胞の生物学的特性を明らかにする。		
	申 請 年 月 日	平成 17 年 3 月 28 日 平成 19 年 9 月 21 日 (指針改正に伴う変更、研究者の追加) 平成 20 年 10 月 30 日 (使用期間の延長)	大臣確認日	平成 17 年 12 月 16 日 平成 19 年 12 月 26 日 平成 20 年 12 月 8 日
届 出 年 月 日	平成 20 年 6 月 20 日 (研究者の追加及び削除) 平成 20 年 10 月 30 日 (研究者の追加) 平成 21 年 11 月 5 日 (研究者の追加及び削除)	届出受理日	平成 20 年 6 月 26 日 平成 20 年 10 月 31 日 平成 21 年 11 月 6 日	

28	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒトES細胞からの樹状細胞の分化誘導法及びこれを用いた遺伝子導入樹状細胞作製法の開発 ※平成24年12月10日まで		
	使用機関の名称	熊本大学大学院医学薬学研究部		
	使用機関の長の氏名	原田 信志 研究部長		
	使用責任者の氏名	千住 覚 准教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞からの樹状細胞分化誘導法を開発する。		
	申請年月日	平成17年8月8日	大臣確認日	平成17年12月16日
		平成19年5月10日（研究者の変更）		平成19年7月4日
平成19年9月25日（指針改正に伴う変更、使用方法の変更、使用期間の延長）		平成19年12月11日		
平成20年12月19日（使用方法の変更）	平成21年2月5日			
届出年月日	平成20年10月2日（倫理審査委員会の体制の変更）	届出受理日	平成20年10月31日	
	平成20年12月19日（研究者の追加）		平成20年12月22日	
29	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒト胚性幹細胞を用いた肝胆膵の発生分化と再生医学の基礎研究 ※平成24年12月10日まで		
	使用機関の名称	熊本大学発生医学研究所		
	使用機関の長の氏名	小椋 光 センター長		
	使用責任者の氏名	糸 昭苑 教授		
	使用計画の概要	ヒト胚性幹細胞から肝胆膵への分化誘導法を確立し、その生物学的性状を解析し、ヒトの肝胆膵の発生分化の機序を解明する。		
	申請年月日	平成17年8月8日	大臣確認日	平成17年12月16日
		平成19年5月10日（研究者の追加）		平成19年7月4日
平成19年9月25日（指針改正に伴う変更、使用方法の変更、使用期間の延長）		平成19年12月11日		
平成20年12月19日（使用方法の変更）		平成21年2月5日		
届出年月日	平成20年6月10日（使用機関の長の変更、研究者の削除）	届出受理日	平成20年6月12日	
	平成20年10月2日（使用機関の長の変更、倫理審査委員会の体制の変更）		平成20年10月31日	
	平成20年12月19日（研究者の追加）		平成20年12月22日	
	平成21年5月8日（使用機関の名称の変更、研究者の追加）		平成21年5月13日	
30	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒト胚性幹細胞を用いた心筋細胞への分化誘導法開発に関する研究 ※平成23年12月7日まで		
	使用機関の名称	慶應義塾大学医学部		
	使用機関の長の氏名	末松 誠 学部長		

	使用責任者の氏名	福田 恵一 教授		
	使用計画の概要	ヒト胚性幹細胞より心筋細胞を効率的に分化誘導する方法を開発する（使用計画31と共同実施）。		
	申請年月日	平成17年8月11日 平成19年10月30日（指針改正に伴う変更、研究者の追加） 平成20年11月6日（使用方法の変更、使用期間の変更）	大臣確認日	平成17年12月16日 平成19年12月26日 平成20年12月8日
31	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒト胚性幹細胞を用いた心筋細胞への分化誘導法開発に関する研究 ※平成23年12月7日まで		
	使用機関の名称	アスピオファーマ株式会社 生物医学研究所		
	使用機関の長の氏名	南竹 義春 研究所長		
	使用責任者の氏名	小清水 右一 主任研究員		
	使用計画の概要	ヒト胚性幹細胞からの心筋細胞等の誘導および選択的培養法を確立し、その生物学的特性を解析する（使用計画30と共同実施）		
	申請年月日	平成17年8月11日 平成19年7月9日（研究者の追加） 平成19年9月28日（指針改正に伴う変更） 平成20年10月31日（使用方法の変更、使用期間の変更）	大臣確認日	平成17年12月16日 平成19年7月30日 平成19年12月25日 平成20年12月8日
	届出年月日	平成20年8月22日（使用機関の長の変更）	届出受理日	平成20年8月28日
32	使用計画の名称 ※使用の期間	ES細胞を用いた中内胚葉系幹細胞への分化誘導と再生医療への応用研究 ※平成19年3月31日に使用計画終了		
	使用機関の名称	ステムセルサイエンス（株）		
	使用機関の長の氏名	中島 憲三 代表取締役		
	使用責任者の氏名	安永 正浩 主席研究員		
	使用計画の概要	ヒトES細胞由来中内胚葉系幹細胞分化誘導法の確立とその細胞特性評価及び再生医療への応用可能な基盤技術の確立を行う（使用計画12と共同実施）。		
申請年月日	平成17年10月28日 平成18年10月24日（使用期間の変更）	大臣確認日	平成18年2月22日 平成19年1月12日	
33	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒト胚性幹（ES）細胞を用いた骨・軟骨分化誘導技術の確立に関する研究 ※平成19年6月30日に使用計画終了		
	使用機関の名称	東京大学大学院医学系研究科		
	使用機関の長の氏名	廣川 信隆 研究科長		
	使用責任者の氏名	高戸 毅 教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞からの骨・軟骨細胞の分化誘導を行う。		
	申請年月日	平成17年12月7日	大臣確認日	平成18年3月3日

34	使用計画の名称 ※ 使用の期間	ヒト胚性幹細胞からの消化器系臓器幹細胞の分化誘導 ※平成23年3月7日まで		
	使用機関の名称	東京大学医科学研究所		
	使用機関の長の氏名	清木 元治 所長		
	使用責任者の氏名	中内 啓光 教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞からの肝細胞分化についての解析を行う。		
	申請年月日	平成17年12月19日 平成19年9月27日（指針改正に伴う変更、研究者の追加及び削除）	大臣確認日	平成18年3月8日 平成19年12月10日
35	使用計画の名称 ※ 使用の期間	ヒトES細胞から分化誘導された内分泌細胞を用いたバイオ人工内分泌器官の作製とその機能評価 ※平成23年3月9日まで		
	使用機関の名称	京都大学再生医科学研究所		
	使用機関の長の氏名	坂口 志文 所長		
	使用責任者の氏名	岩田 博夫 教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞からインスリンまたはドーパミン分泌細胞の分化誘導を行い、分化された細胞を用いて作製したバイオ人工内分泌器官の in vitro 機能評価を行う。		
	申請年月日	平成17年12月9日 平成19年3月16日（施設の変更等） 平成19年10月16日（指針改正に伴う変更、使用機関の長の変更、使用分担者の削除） 平成21年7月21日（使用機関の基準の変更）	大臣確認日	平成18年3月10日 平成19年6月13日 平成19年12月19日 平成21年8月14日
届出年月日	平成20年1月29日（研究者の追加・削除） 平成20年7月9日（研究者の追加） 平成21年7月21日（研究者の変更）	届出受理日	平成20年3月10日 平成20年8月1日 平成21年7月24日	
36	使用計画の名称 ※ 使用の期間	feeder 細胞を必要としない合成ハイドロゲルを用いた新規ヒトES細胞培養法および腎臓構成細胞への特異的分化誘導法の確立 ※平成23年6月6日まで		
	使用機関の名称	東京大学大学院医学系研究科		
	使用機関の長の氏名	清水 孝雄 研究科長		
	使用責任者の氏名	菱川 慶一 客員准教授		
	使用計画の概要	異種細胞混入の無い条件でヒトES細胞の未分化を維持する培養方法を確立するための合成ハイドロゲルを用いた新規素材開発及び、腎臓構成細胞への特異的分化誘導法の検討を行う。		
申請年月日	平成17年12月7日	大臣確認日	平成18年6月7日	

		平成19年9月27日（指針改正に伴う変更、研究者の追加）		平成19年12月10日
		平成20年7月10日（使用の方法の追加）		平成20年9月17日
37	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒトES細胞を用いた薬剤毒性試験法に関する研究 ※平成23年9月27日まで		
	使用機関の名称	国立成育医療センター研究所		
	使用機関の長の氏名	倉辻 忠俊 研究所長		
	使用責任者の氏名	田上 昭人 薬剤治療研究部長		
	使用計画の概要	ヒトES細胞を用い（EST法を用いるなどして）、未分化なヒトES細胞の維持・増殖過程における薬物の影響を解析する。		
	申請年月日	平成18年7月4日	大臣確認日	平成18年9月28日
		平成19年4月16日（研究者の追加及び削除）		平成19年6月13日
平成19年9月7日（指針改正に伴う変更、研究者の変更）		平成19年10月31日		
届出年月日	平成20年5月12日（使用機関の長の変更）	届出受理日	平成20年5月14日	
38	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒトES細胞からの創薬基盤研究のためのモデル細胞の創製 ※平成23年10月4日まで		
	使用機関の名称	特定非営利活動法人幹細胞創薬研究所		
	使用機関の長の氏名	横山 周史 理事長		
	使用責任者の氏名	天貝 裕地 主席研究員		
	使用計画の概要	ヒトES細胞を対象に遺伝子導入技術、導入遺伝子発現制御技術等の加工技術および目的の細胞への分化誘導を制御する基盤技術を確認し、創薬の基盤技術に資する肝細胞、心筋細胞、神経系細胞、血管系細胞の正常及び疾患モデル細胞を構築する。		
	申請年月日	平成18年5月17日	大臣確認日	平成18年10月5日
		平成19年5月28日（研究者の追加）		平成19年7月4日
平成19年9月20日（指針改正に伴う変更）		平成19年12月18日		
平成21年7月10日（ヒトES細胞株の追加）		平成21年8月6日		
届出年月日	平成20年3月14日（研究者の追加）	届出受理日	平成20年4月4日	
	平成20年6月20日（研究者の削除）		平成20年6月26日	
	平成21年11月2日（研究者の削除）		平成21年11月2日	
39	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒトES細胞に対する効率の高い遺伝子導入法と染色体操作技術の開発 ※平成23年3月31日まで		
	使用機関の名称	埼玉医科大学		
	使用機関の長の氏名	山内 俊雄 学長		
	使用責任者の氏名	三谷 幸之介 准教授		
	使用計画の概要	細胞にダメージを与えずに高い遺伝子操作効率を達成出来る種々のウイルスベクターを用いて、遺伝子導入法と相同組換え法の至適化を行う。		

	申請年月日	平成18年8月7日 平成19年10月26日(指針改正に伴う変更、研究者の追加) 平成21年3月31日(使用分担者の削除)	大臣確認日	平成18年11月14日 平成19年12月25日 平成21年5月28日
40	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒトES細胞から機能的内胚葉系細胞(肝細胞、膵β細胞)への分化誘導法の確立 ※平成23年11月13日まで		
	使用機関の名称	京都大学再生医科学研究所		
	使用機関の長の氏名	坂口 志文 所長		
	使用責任者の氏名	末盛 博文 准教授		
	使用計画の概要	マウスでの基礎研究の結果を参考に、ヒトES細胞から機能的内胚葉系細胞(肝細胞・膵β細胞)への分化誘導法を検証する一方、分化誘導率を高めて内胚葉細胞を安定して作出する方法の確立をする。		
	申請年月日	平成18年5月31日 平成19年3月5日(研究者の追加等) 平成19年5月15日(研究者の削除等) 平成19年10月16日(指針改正に伴う変更、使用責任者の変更、研究者の追加) 平成21年1月30日(細胞株の追加)	大臣確認日	平成18年11月14日 平成19年5月17日 平成19年7月4日 平成20年2月12日 平成21年3月11日
届出年月日	平成20年6月2日(研究者の追加及び削除) 平成21年1月30日(研究者の削除)	届出受理日	平成20年6月5日 平成21年2月4日	
41	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒトES細胞を用いた網膜細胞の分化誘導と網膜移植の研究 ※平成22年3月31日まで		
	使用機関の名称	独立行政法人理化学研究所神戸研究所		
	使用機関の長の氏名	竹市 雅俊 所長		
	使用責任者の氏名	高橋 政代 発生・再生科学総合研究センターチームリーダー		
	使用計画の概要	ヒトES細胞からの網膜色素上皮細胞及び視細胞の分化誘導、移植効率の至適化、安全性を確認する。		
申請年月日	平成18年9月29日 平成19年7月11日(研究者の追加) 平成19年10月19日(指針改正に伴う変更、研究者の削除、実験室の追加) 平成21年1月19日(使用施設の変更)	大臣確認日	平成18年11月21日 平成19年7月31日 平成19年12月13日 平成21年2月23日	
届出年月日	平成21年1月19日(研究者の追加) 平成21年8月21日(研究者の削除)	届出受理日	平成21年1月22日 平成21年8月24日	
42	使用計画の名称 ※使用の期間	細胞融合における体細胞の初期化および融合細胞核からの染色体除去技術の開発 ※平成24年1月11日まで		

	使用機関の名称	京都大学再生医科学研究所		
	使用機関の長の氏名	坂口 志文 所長		
	使用責任者の氏名	多田 高 准教授		
	使用計画の概要	免疫拒絶のコントロールを目的とした個人対応型ES細胞の作製を目指し、マウスESで確立した細胞融合による体細胞核の再プログラム化と選択的染色体除去による複合遺伝子改変技術をヒトES細胞に応用する。		
	申請年月日	平成18年5月9日 ----- 平成19年10月16日（指針改正に伴う変更、研究者の変更、実験室の追加）	大臣確認日	平成19年1月12日 ----- 平成19年12月25日
43	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒト胚性幹細胞株から血液系細胞を分化誘導する技術開発及び分化誘導した細胞から血液系前駆細胞株を樹立する技術開発 ※平成24年3月31日まで		
	使用機関の名称	独立行政法人理化学研究所筑波研究所		
	使用機関の長の氏名	小幡 裕一 研究所長		
	使用責任者の氏名	中村 幸夫 室長		
	使用計画の概要	臨床を目指す研究（トランスレーショナルリサーチ）につなげるために、正常に近い血液前駆細胞をヒトES細胞から樹立することを目的とする。		
	申請年月日	平成19年4月6日 ----- 平成19年10月11日（指針改正に伴う変更） ----- 平成20年9月30日（使用細胞株の追加、使用分担者の変更）	大臣確認日	平成19年6月21日 ----- 平成19年12月25日 ----- 平成20年12月8日
	届出年月日	平成20年4月22日（使用機関の長の氏名の変更） ----- 平成21年12月22日（研究者の追加）	届出受理日	平成20年4月23日 ----- 平成22年1月4日
44	使用計画の名称 ※使用の期間	遺伝子導入によるヒト胚性幹細胞（ES細胞）からの高効率血液細胞産生法の開発研究 ※平成24年7月30日まで		
	使用機関の名称	九州大学生体防御医学研究所		
	使用機関の長の氏名	吉開 泰信 所長		
	使用責任者の氏名	谷 憲三郎 教授		
	使用計画の概要	動物ES細胞にて確立した遺伝子導入分化誘導法を応用し、ヒトES細胞から血液細胞への高効率な分化誘導系の確立を目指す。		
	申請年月日	平成19年7月4日 ----- 平成19年10月23日（指針改正に伴う変更、使用方法の変更） ----- 平成20年8月29日（使用分担者の変更、実験室の変更） ----- 平成21年3月31日（使用方法の変更）	大臣確認日	平成19年7月31日 ----- 平成20年2月12日 ----- 平成20年10月10日 ----- 平成21年5月12日
届出年月日	平成20年8月29日（研究者の追加）		届出受理日	平成20年9月3日

		平成21年3月31日（研究者の追加）		平成21年4月2日
45	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒト胚性幹細胞からの造血幹細胞および分化血液細胞の誘導 ※平成24年10月30日まで		
	使用機関の名称	東京大学医科学研究所		
	使用機関の長の氏名	清木 元治 所長		
	使用責任者の氏名	中内 啓光 教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞からの血液細胞誘導法を確立するため、①造血幹細胞を誘導する方法、②血小板を高効率に産生できる方法の2つに焦点を当てて基礎実験を実行する。		
	申請年月日	平成19年9月27日	大臣確認日	平成19年10月31日
		平成20年7月10日（使用の方法の追加）		平成20年9月17日
平成21年1月23日（使用細胞株の追加）		平成21年3月11日		
平成21年3月6日（実験室の追加）		平成21年5月12日		
届出年月日	平成20年7月10日（研究者の追加及び削除）	届出受理日	平成20年8月7日	
	平成21年5月21日（研究者の追加）		平成21年6月4日	
46	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒトES細胞を利用した無血清培養系および器官形成制御系の開発 ※平成23年3月31日まで		
	使用機関の名称	東京大学大学院総合文化研究科		
	使用機関の長の氏名	山影 進 研究科長		
	使用責任者の氏名	浅島 誠 客員教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞から膵臓及び心臓組織の分化誘導を行い、より安定かつ確実なヒト組織の分化制御法を確立するための基礎研究を行う。また、より安定で安価なヒトES細胞の無血清培養条件を構築するための基礎研究を行う。		
	申請年月日	平成19年9月27日	大臣確認日	平成19年12月13日
	届出年月日	平成20年1月28日（研究者の追加）	届出受理日	平成20年3月27日
平成20年7月10日（研究者の追加）		平成20年9月3日		
平成21年2月16日（使用機関の長の変更）		平成21年2月26日		
平成21年5月21日（研究者の追加）		平成21年6月4日		
平成21年6月30日（研究者の追加）		平成21年7月17日		
平成21年8月28日（ヒトES細胞株の追加）		平成21年9月9日		
47	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒト胚性幹細胞株からの免疫担当細胞及び造血幹細胞の分化誘導とそれらを用いた悪性腫瘍の免疫細胞治療モデルの開発 ※平成25年3月31日まで		
	使用機関の名称	独立行政法人理化学研究所横浜研究所		
	使用機関の長の氏名	小川 智也 所長		
	使用責任者の氏名	古関 明彦 グループディレクター		

	使用計画の概要	ヒトES細胞からNK細胞や造血幹細胞などを分化誘導し、悪性腫瘍の免疫細胞治療技術の確立を目指した研究を行う。		
	申請年月日	平成20年1月11日	大臣確認日	平成20年4月4日
	届出年月日	平成21年2月25日(研究者の追加)	届出受理日	平成21年3月3日
		平成21年4月17日(研究者の削除)		平成21年4月23日
		平成21年5月21日(研究者の削除)		平成21年5月25日
		平成21年8月13日(研究者の変更)		平成21年8月20日
48	使用計画の名称	ヒトES細胞を用いた心臓を構成する細胞への分化誘導に関する研究		
	※使用の期間	※平成23年3月31日まで		
	使用機関の名称	国立循環器病センター		
	使用機関の長の氏名	橋本 信夫 総長		
	使用責任者の氏名	森崎 隆幸 部長		
	使用計画の概要	ヒトES細胞を用いて心臓を構成する細胞への分化誘導に関する基礎研究を行い、心臓を構成する細胞への分化誘導法や有効な分化細胞純化法について検討し、心臓再生医療への応用に向けた基盤を構築する。		
	申請年月日	平成20年2月12日	大臣確認日	平成20年4月21日
届出年月日	平成20年4月30日(使用機関の長の変更)	届出受理日	平成20年5月2日	
49	使用計画の名称	ヒトES細胞の肝・膵組織への分化誘導の開発と新しい治療法確立のための基礎的研究		
	※使用の期間	※平成23年1月31日まで		
	使用機関の名称	信州大学医学部		
	使用機関の長の氏名	久保 恵嗣 医学部長		
	使用責任者の氏名	佐々木 克典 教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞から肝細胞・組織、および膵細胞・組織に分化させ、それらを臓器のパーツとして利用することで、臓器移植の代替ができるような新しい治療法を開発することを目的とした基礎的研究を行う。		
	申請年月日	平成20年3月17日	大臣確認日	平成20年4月28日
	平成21年3月27日(使用分担者の追加)	平成21年5月12日		
	平成21年7月7日(使用分担者の変更)	平成21年7月30日		
届出年月日	平成20年6月11日(使用機関の長の変更)	届出受理日	平成20年6月23日	
	平成21年3月27日(研究者の変更)		平成21年4月3日	
	平成21年6月10日(研究者の変更)		平成21年6月11日	
50	使用計画の名称	ヒトES細胞の心筋組織への分化誘導法の開発と新しい治療法確立のための基礎的研究		
	※使用の期間	※平成23年1月31日まで		
	使用機関の名称	信州大学医学部		
	使用機関の長の氏名	久保 恵嗣 医学部長		

	使用責任者の氏名	佐々木 克典 教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞から心筋組織を分化させ、それらを臓器のパーツとして利用することで、臓器移植の代替ができるような新しい治療法を開発することを目的とした基礎的研究を行う。		
	申請年月日	平成20年3月17日 ----- 平成21年3月27日(使用分担者の追加) ----- 平成21年6月10日(使用分担者の削除)	大臣確認日	平成20年4月28日 ----- 平成21年5月12日 ----- 平成21年7月13日
	届出年月日	平成20年6月11日(使用機関の長の変更) ----- 平成21年3月27日(研究者の変更) ----- 平成21年6月10日(研究者の変更)	届出受理日	平成20年6月23日 ----- 平成21年4月3日 ----- 平成21年6月11日
51	使用計画の名称 ※使用の期間	染色体異常症候群の分子基盤の解明-ヒトES細胞へのヒト染色体導入によるトリソミー症候群モデル細胞の作製と解析- ※平成25年6月4日まで		
	使用機関の名称	鳥取大学		
	使用機関の長の氏名	能勢 隆之 学長		
	使用責任者の氏名	押村 光雄 教授		
	使用計画の概要	ダウン症候群を代表としたトリソミー症候群の病態理解およびこれら種々の症状に対する治療薬を開発することを将来目的とした基礎的研究を行う。ヒトES細胞へ染色体を導入し、ダウン症候群モデルES細胞を作製し、心筋、神経、および血液系への分化誘導などを行う。		
	申請年月日	平成20年2月25日	大臣確認日	平成20年6月3日
	届出年月日	平成21年8月12日(研究者の変更) ----- 平成21年11月6日(研究者の追加)	届出受理日	平成21年8月14日 ----- 平成21年11月11日
52	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒトES細胞の未分化状態を長期安定保存する技術開発ならびに評価法開発に関する研究 ※平成22年3月31日まで		
	使用機関の名称	独立行政法人医薬基盤研究所		
	使用機関の長の氏名	山西 弘一 理事長		
	使用責任者の氏名	水澤 博 部長		
	使用計画の概要	長期継代培養時あるいは長期安定保存時における品質管理法の確立及び遺伝子導入技術の開発による分化誘導法の開発及び機能維持の評価法の確立を目的とした基礎的研究を行う。		
	申請年月日	平成20年3月31日 ----- 平成20年12月18日(使用分担者の追加、使用方法の追加、使用細胞株の追加、使用場所の追加)	大臣確認日	平成20年6月6日 ----- 平成21年3月4日
	届出年月日	平成20年9月26日(研究者の追加) ----- 平成21年3月10日(研究者の削除と追加) ----- 平成21年8月31日(研究者の追加) ----- 平成21年9月1日(使用責任者の変更)	届出受理日	平成20年10月21日 ----- 平成21年3月18日 ----- 平成21年10月5日 ----- 平成21年10月5日

53	使用計画の名称 ※ 使用の期間	ヒトES細胞の創薬利用に関する研究 ※平成25年6月6日まで		
	使用機関の名称	田辺三菱製薬株式会社研究本部先端医療研究所		
	使用機関の長の氏名	井上 裕章 所長		
	使用責任者の氏名	近藤 靖 グループマネージャー		
	使用計画の概要	ヒトES細胞を用いて、目的の細胞への分化誘導を制御する基盤技術を確立し、得られた神経系細胞、血液・血管系細胞及び心筋細胞を用い、薬剤候補化合物の薬効評価や安全性試験等、創薬過程で必要なアッセイ系を構築することを目的とする。		
	申請年月日	平成20年4月14日 平成21年1月30日（実験室の変更）	大臣確認日	平成20年6月6日 平成21年3月11日
	届出年月日	平成21年1月30日（研究者の削除） 平成21年7月29日（研究者の変更）	届出受理日	平成21年2月9日 平成21年7月30日
54	使用計画の名称 ※ 使用の期間	ヒトES細胞から肝細胞への分化誘導法の確立と分子機構の解明 ※平成25年8月13日まで		
	使用機関の名称	鳥取大学		
	使用機関の長の氏名	能勢 隆之 学長		
	使用責任者の氏名	汐田 剛史 教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞から肝細胞への分化誘導法の確立を目指し、分化の分子機構を解明する。遺伝子発現の変化を外来性から付与した場合も、ヒト間葉系幹細胞と同様に機能性肝細胞への分化が制御できるか検討し、内因性に認められる遺伝子の発現変化を、低分子化合物で誘導する。		
申請年月日	平成20年6月6日	大臣確認日	平成20年8月12日	
届出年月日	平成21年8月12日（研究者の変更） 平成21年11月6日（研究者の追加）	届出受理日	平成21年8月14日 平成21年11月11日	
55	使用計画の名称 ※ 使用の期間	ヒト胚性幹（ES）細胞の多能性維持機構の解明と心筋細胞への分化 ※平成25年8月13日まで		
	使用機関の名称	鳥取大学		
	使用機関の長の氏名	能勢 隆之 学長		
	使用責任者の氏名	久留 一郎 教授		
	使用計画の概要	テラトカルシノーマ細胞由来未分化性維持因子のヒトES細胞に対する効果を検証し、未分化性および多能性を制御する分子基盤の解明及び新規培養法の開発を目指す。将来の不整脈に対する再生医療を見据えて、心臓を構成する細胞（特に、心臓ペースメーカー細胞）への分化誘導系の構築を行う。		
	申請年月日	平成20年6月6日	大臣確認日	平成20年8月12日
届出年月日	平成21年8月12日（研究者の変更） 平成21年11月6日（研究者の追加）	届出受理日	平成21年8月14日 平成21年11月11日	
56	使用計画の名称 ※ 使用の期間	物理的刺激負荷によるヒトES細胞の骨・軟骨への分化制御 ※平成25年3月31日まで		

	使用機関の名称	東京大学大学院医学系研究科		
	使用機関の長の氏名	清水 孝雄 科長		
	使用責任者の氏名	牛田 多加志 教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞培養中に圧縮応力・静水圧等の物理的刺激を負荷することによって、ヒトES細胞の骨・軟骨系への分化制御を試みる。		
	申請年月日	平成20年7月15日	大臣確認日	平成20年9月17日
		平成21年1月23日（使用分担者の追加、使用方法の追加）		平成21年3月4日
届出年月日	平成21年5月21日（研究者の追加）	届出受理日	平成21年6月4日	
57	使用計画の名称 ※使用の期間	環境化学物質による胎生プログラミングに及ぼす影響の検出法の開発 ※平成25年10月10日まで		
	使用機関の名称	独立行政法人国立環境研究所		
	使用機関の長の氏名	大垣 眞一郎 理事長		
	使用責任者の氏名	曾根 秀子 主任研究員		
	使用計画の概要	化学物質の曝露によるヒトES細胞の分化への影響を検出することによって感受性の高い時期と考えられる小児、妊婦に対するヒトの健康リスク評価の基礎データを得る（使用計画66と共同実施）。		
	申請年月日	平成20年8月15日	大臣確認日	平成20年10月10日
平成21年12月22日（使用機関の長の変更）		届出受理日		平成22年1月5日
届出年月日	平成22年1月6日（研究者の追加）			平成22年1月12日
58	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒトES細胞由来免疫細胞の再生医学における基礎的研究 ※平成25年3月31日まで		
	使用機関の名称	国立大学法人北海道大学		
	使用機関の長の氏名	佐伯 浩 総長		
	使用責任者の氏名	若尾 宏 助教		
	使用計画の概要	免疫バランス維持に必要なTリンパ球群を選択的に分化誘導し解析を行うことでガン、自己免疫疾患、アレルギーなどの各種免疫疾患に対する新たな治療法や医薬品等の開発のための基礎研究を行う。		
申請年月日	平成20年8月26日	大臣確認日	平成20年12月8日	
59	使用計画の名称 ※使用の期間	メタボリックシンドローム病態解明と治療応用に向けた、ヒトES細胞を用いた細胞老化と臓器連関の研究 ※平成24年3月31日まで		
	使用機関の名称	慶應義塾大学医学部		
	使用機関の長の氏名	末松 誠 医学部長		
	使用責任者の氏名	伊藤 裕 教授		

	使用計画の概要	血管細胞、脂肪細胞、膵β細胞、腎臓の糸球体足細胞、尿管細胞の分化誘導を行い、それら細胞群の生体移植による治療効果を検討することによって、臓器障害関連メカニズムを明らかにし、メタボリックドミノに対する新たな治療ターゲット分子の同定及びその創薬への応用研究を行う。		
	申請年月日	平成20年9月26日	大臣確認日	平成20年12月8日
60	使用計画の名称	ヒトES細胞を用いた外胚葉系および中胚葉系への分化誘導法の確立		
	※使用の期間	※平成25年12月1日まで		
	使用機関の名称	筑波大学大学院人間総合科学研究科		
	使用機関の長の氏名	五十殿 利治 研究科長		
	使用責任者の氏名	高崎（松尾）真美 助教		
	使用計画の概要	ヒトES細胞から外胚葉（頭部感覚ブラコード組織）への分化誘導法の開発、中胚葉（血管内皮前駆細胞・間葉系幹細胞）への分化誘導法の開発を行う。併せて臨床応用につながるトランスレーショナル・リサーチの基盤確立を目指す。		
	申請年月日	平成20年10月30日	大臣確認日	平成21年1月5日
届出年月日	平成21年4月20日（使用機関の長の変更） 平成21年7月2日（研究者の変更）	届出受理日	平成21年4月28日 平成21年7月6日	
61	使用計画の名称	ES細胞由来造血幹細胞による造血の再生に関する研究		
	※使用の期間	※平成24年2月4日まで		
	使用機関の名称	筑波大学大学院人間総合科学研究科		
	使用機関の長の氏名	五十殿 利治 研究科長		
	使用責任者の氏名	千葉 滋 教授		
	使用計画の概要	将来的な医療技術への応用を目的として、ヒトES細胞から自在に試験管内で造血幹細胞へと誘導しこれを増幅する方法論及びヒトES細胞から試験管内で成熟した血液細胞に分化させる方法論を確立する。		
	申請年月日	平成21年1月28日	大臣確認日	平成21年3月10日
届出年月日	平成21年4月20日（使用機関の長の変更）	届出受理日	平成21年4月28日	
62	使用計画の名称	ヒトES細胞を用いた毒性／薬効に関する基礎研究		
	※使用の期間	※平成24年3月31日まで		
	使用機関の名称	住友化学株式会社		
	使用機関の長の氏名	神田 直哉 代表取締役副社長		
	使用責任者の氏名	斎藤 幸一 上席研究員		
	使用計画の概要	ヒトES細胞由来の神経細胞、心筋細胞、肝臓細胞、角膜上皮細胞の分化後及び分化誘導時における化学物質の影響評価法の確立を目指す。		
申請年月日	平成21年3月27日	大臣確認日	平成21年5月12日	

63	使用計画の名称 ※使用の期間	新しい治療法開発に資するヒトES細胞を用いた多能性幹細胞の分化能及び移植安全性に関する研究 ※平成26年6月3日まで		
	使用機関の名称	京都大学物質-細胞統合システム拠点		
	使用機関の長の氏名	中辻 憲夫 拠点長		
	使用責任者の氏名	山中 伸弥 教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞を用いた多能性幹細胞の分化能及び移植安全性に関する実験を実施し、多能性幹細胞を用いた新しい治療法開発に資することを目的とする。		
	申請年月日	平成21年5月1日	大臣確認日	平成21年6月3日
	平成21年11月16日(研究者の追加)	届出受理日	平成21年11月18日	
	平成21年12月16日(実験施設の追加)		平成21年12月21日	
64	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒトES細胞の肝組織への分化誘導と薬物代謝試験への応用を目指した基礎的研究 ※平成25年3月31日まで		
	使用機関の名称	東京工業大学		
	使用機関の長の氏名	伊賀 健一 学長		
	使用責任者の氏名	田川 陽一 准教授		
	使用計画の概要	ヒトES細胞より肝細胞への分化誘導するシステムを開発し、さらにマイクロ培養装置(チップ)上で培養することにより、ヒト肝臓における薬物代謝・動態に近い解析を目指す。		
	申請年月日	平成21年3月12日	大臣確認日	平成21年8月11日
65	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒトES細胞を用いた <i>in vitro</i> 薬剤検定系の確立 ※平成25年11月17日まで		
	使用機関の名称	早稲田大学		
	使用機関の長の氏名	白井 克彦 理事長		
	使用責任者の氏名	浅野 茂隆 教授		
	使用計画の概要	薬剤を添加したヒトES細胞の生存率測定及び分化後の分子生物学的指標の定量化等を行い、薬剤毒性の早期発見に資する検定系を確立する。		
	届出年月日	平成21年11月5日	届出受理日	平成21年11月17日
66	使用計画の名称 ※使用の期間	ヒトES細胞を用いた神経細胞分化系における環境化学物質の影響評価法開発 ※平成27年1月17日		
	使用機関の名称	東京大学大学院医学系研究科		
	使用機関の長の氏名	清水 孝雄 研究科長		
	使用責任者の氏名	大迫 誠一郎 准教授		
	使用計画の概要	様々な化学物質をヒトES細胞の培養中に曝露させ、ヒトの発生発達影響を解析する(使用計画57と共同実施)。		
	届出年月日	平成22年1月8日	届出受理日	平成22年1月18日

(注) 使用機関の長の氏名は、当該計画について最後に確認を行った当時のもの。